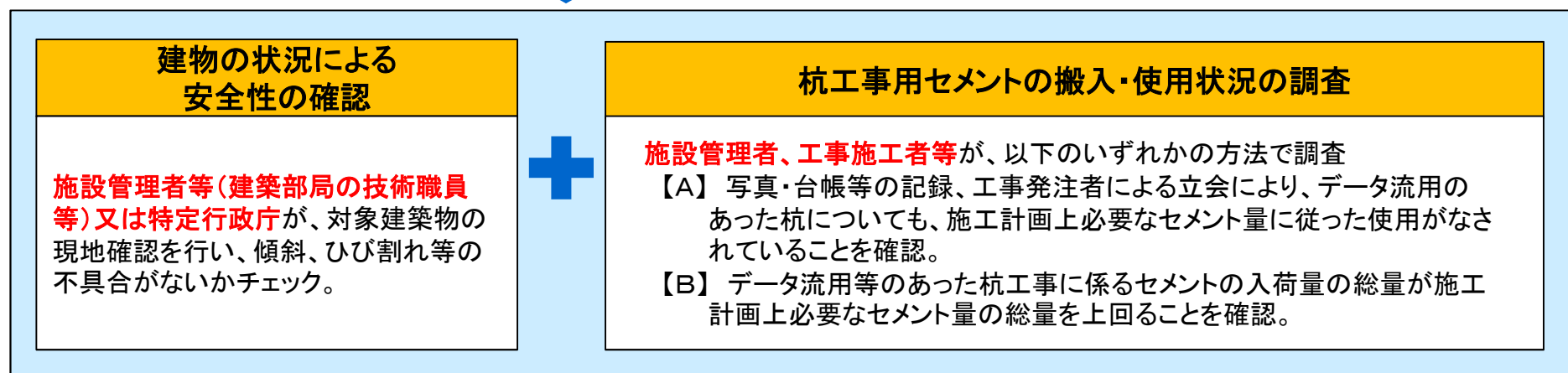
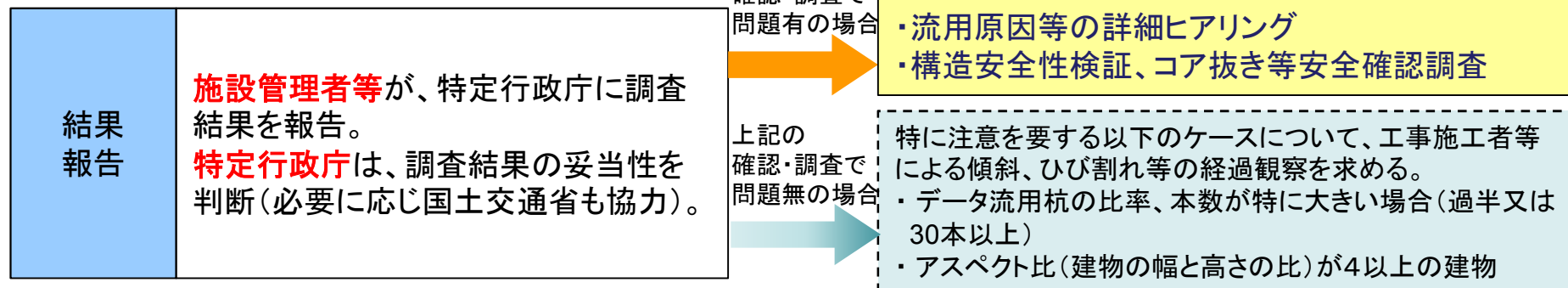


セメントミルクの使用状況を確認する方法

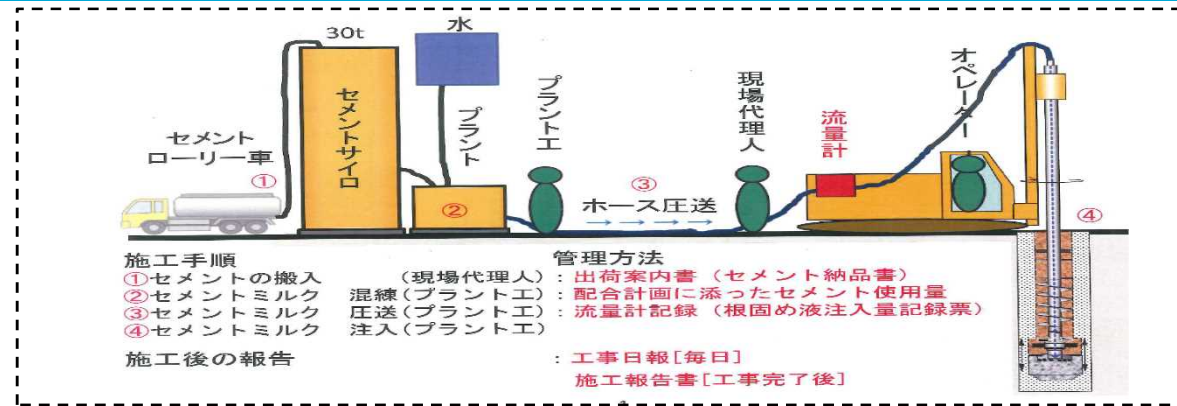
調査対象	データ流用等が判明した物件 360件中 → 流量計データの流用件数144件	
	先行的な調査の対象	○ 地方公共団体の調査等により 11/13 までにデータ流用等が明らかになった物件 ○ 横浜市のマンションの担当者の関与物件 計 82件中27件 (うち14は流量計のみ)



先行的な調査対象については、速やかに、残りのものについても12月中に目途をつける



セメントミルク関連の仕組みについて



セメントミルク調合プラントの特徴

- ・搬入されたセメントはすべてサイロに注入され、工事中の搬入量は納入書等により確認可能
 - ・サイロよりミキサーに送られ、水セメント比が一定となるよう混練される
 - ・以前は、一回当たりの混練分量 (バッチ) の数で注入量を管理。現在は流量計による管理が一般的。
 - ・混練されたセメントミルクは硬化前に根固め部に注入することが必要
 - ・仮に余った場合には、産廃処分に係る費用が嵩むため、通常は、最終セメント残量が3t以下等一定水準以下となるよう管理
 - ・プラントは本体工事着手までに通常は撤去
- 現場に搬入されたセメントは原則として、すべて杭のために使用されたとみなすことが相当

根固め部の強度

- ・適切に調合された根固め液 (セメントミルク) が所定量根固め部に注入されることが必要
- ・ただし、所定量を多少下回った場合であっても、支持層未達のような急激な耐力低下をもたらすことはない

コア抜き等安全確認調査の課題

- ・根固め部コア抜き等の破壊検査は調査可能箇所 (杭上部に柱・梁がないこと) や工法 (中空杭であること) が限られる
- ・調査箇所・方法によっては建築物に悪影響を及ぼしかねない

セメントミルクの使用状況が確認された事例【類型B】

全杭数:21本
 流用のあった杭数:2本(流量計)
 杭径:φ600、φ700
 杭長:39m×1本、40m×20本
 工法:DYNAWING工法
 支持層:細砂層

当日入荷セメント量は、納品書より確認することができる。

納品書

下記のとおり確かに納品致しました。

運送会社 確認欄
 高炉 B No 0137

出荷日/納品先 出荷日 2009/06/18 10:59 着日 06/18

納品先

住 宅
 T E L

販売店
 運送会社/車番

重量 総重量 21,970kg
 [袋数] 正味 12,270kg

出荷 No 39250(発約No:東京受店 79760)
 品 種 高炉セメントB種
 荷 姿 バラ

□ : 流用のあった杭
 □ : 流用なかった杭

【セメントミルク受け払い表】

施工 月日	杭径 (mm)	打設 本数	累計	セメント (kg)						備考	
				当日入荷	入荷累計	根固め	一本当り	当日使用量	使用累計		残量
	(2本のうち1本が流用)			12,270	12,270	3620	3,620	0	0	12,270	試験 の 材 量 計 と か ら (流 入)
	8070	2			12,270	3620	3,620	7240	7,240	5,030	
	700	1	3	12,100	24,370	3620	3,620	3620	10,860	13,510	流量 日 付 と を
	600	1	4		24,370	2700	2,700	2700	13,560	10,810	
	700	1	5	12,080	36,450	3620	3,620	3620	17,180	19,270	
	8070	1	6		36,450	3620	3,620	3620	20,800	15,650	
	7060	1	7		36,450	2700		2700	23,500	12,950	
	8070	1	8	11,470	47,920	3620	3,620	3620	27,120	20,800	
	600	1	9		47,920	2700	2,700	2700	29,820	18,100	
	7060	1	10		47,920	2700	2,700	2700	32,520	15,400	
			10	12,080	60,000	3620	3,620	0	32,520	27,480	
	600	2	12		60,000	2700	2,700	5400	37,920	22,080	
	7060	1	13		60,000	2700	2,700	2700	40,620	19,380	
	600	3	16		60,000	2700	2,700	8100	48,720	11,280	
	7060	1	17		60,000	2700	2,700	2700	51,420	8,580	
	600	2	19		60,000	2700	2,700	5400	56,820	3,180	
	600	1	20	3,730	63,730	2700	2,700	2700	59,520	4,210	
	8070	1	21		63,730	3620	3,620	3620	63,140	590	

施工計画書、または、流用の無かった杭との比較により、杭径毎に必要なセメント量を確認することができる。

Φ600 :2,700kg Φ7060:2,700kg(上杭φ700、下杭600)
 Φ700 :3,620kg Φ8070:3,620kg(上杭φ800、下杭700)

試験杭時の、写真等の施工記録より、流量計の値が正しいことが確認出来る
 (流用は2本の内1本)

流量計データから、当日使用量が正しいことを確認出来る

入荷セメント量の総量が施工計画に必要なセメント量の総量を上回ることが確認できる。
 (入荷セメント量の総量:63,730kg > 施工計画に必要なセメント量の総量:63,140kg)

入荷累計

施工計画に必要なセメント量の総計